

令和元年度（平成30年度対象）

事務事業評価報告書

下松市教育委員会

令和元年10月

令和元年度（平成30年度対象）事務事業評価報告書

目 次

はじめに	… 1
点検評価の実施方法	… 1
（１）評価の対象	
（２）評価の観点	
（３）評価の主体及び方法	
（４）評価の見方	
点検・評価の結果	… 3
学識経験者の知見の活用について	… 5
事務事業の評価結果	… 14

No.	事業名	担当課	No.	事業名	担当課
1	学校施設の整備充実	教育総務課	23	公民館施設管理整備事業	生涯学習振興課
2	学校用地の借地に関する事務	教育総務課	24	図書館の充実	図書館
3	教育機器等の充実	教育総務課	25	移動図書館の充実	図書館
4	学校図書館の充実	教育総務課	26	文化会館管理事業	生涯学習振興課
5	学校給食の充実	学校給食課	27	下松市生涯学習支援事業	生涯学習振興課
6	学校規模の適正化	教育総務課	28	芸術文化の振興	生涯学習振興課
7	下松市海外語学研修生派遣事業	教育総務課	29	吹奏楽の活動支援	生涯学習振興課
8	小学校ALT派遣	学校教育課	30	文化財保護事業	生涯学習振興課
9	中学校ALT派遣	学校教育課	31	レクリエーションスポーツの普及	生涯学習振興課
10	教員補助員の配置	学校教育課	32	健康・体力づくり運動の推進	生涯学習振興課
11	心豊かな子どもを育てる推進事業	学校教育課	33	スポーツイベントの充実	生涯学習振興課
12	下松市教育支援センター	学校教育課	34	スポーツによるまちづくり	生涯学習振興課
13	下松市カウンセリングルームや心の教室相談員の活用	学校教育課	35	スポーツ組織の育成・支援	生涯学習振興課
14	コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課	36	指導者の育成・確保	生涯学習振興課
15	学校ガードボランティアの推進	学校教育課	37	競技スポーツの振興	生涯学習振興課
16	就学援助費交付事業	学校教育課	38	生涯スポーツ施設の整備充実	生涯学習振興課
17	放課後子ども教室・家庭教育支援推進事業	生涯学習振興課	39	心豊かな人づくり事業	生涯学習振興課
18	子ども会活動支援事業	生涯学習振興課	40	下松市成人式	生涯学習振興課
19	青少年の健全育成活動	生涯学習振興課	41	下松市民憲章推進によるまちづくり	生涯学習振興課
20	子どもの読書活動の促進	図書館	42	下松市連合婦人会活動支援	生涯学習振興課
21	啓発・情報提供の推進活動事業	生涯学習振興課	43	人権教育	生涯学習振興課
22	青少年相談業務	生涯学習振興課			



## はじめに

下松市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「下松市教育委員会事務事業点検及び評価実施要綱」の規定に基づき、平成30年度実施の事務事業について点検・評価を行いましたので、その結果を報告します。

これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条において、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することと規定されており、平成20年4月から毎年度行っています。

本報告書は、下松市のホームページに掲載し、広く市民の皆様にも周知することにより、市民と行政が一体となって、教育行政を推進する役割を担います。

また、教育行政に高い見識を有する3名の点検評価委員から貴重なご意見をいただいておりますので、これらを生かし、事務事業の更なる充実を図るなど、効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

## 点検評価の実施方法

### （1）評価の対象

平成30年度に実施した教育委員会の事務事業について、「下松市後期基本計画」（平成28年度から平成32年度）に掲げられた政策、施策をもとに事務事業を分類し、評価する事務事業を選定しました。

### （2）評価の観点

妥当性（事業の目的や対象等の検証）、有効性（事業の成果の検証）、効率性（事業費及びコストの検証）、関与性（事業への関与の検証）を評価した上で、総合評価を行い、今後の課題について総括しました。

### （3）評価の主体及び方法

担当課が「事務事業評価シート」により、自己評価を実施しました。

### （4）評価の見方

事務事業評価シート中、「2 事務事業の評価」の各項目について、以下の要領で記入しています。

①妥当性 ②有効性 ③効率性 ④関与性について、次の基準に照らし評価を行いました。

評価項目	着眼点	評価	
妥当性	<b>◆事業目的、対象等の検証</b> ・事業目的が市総合計画に合致しているか ・市民等のニーズはあるか ・時代の変化に適応した内容となっているか	A	市民等のニーズが高く、目的が市総合計画に合致している事務事業
		B	市民等の一定のニーズがあり、目的が市総合計画に沿った事務事業
		C	市民等のニーズはあるが、時代変化により目的が薄れてきている事務事業
		D	市民等のニーズや社会変化に全く適応していない事務事業
有効性	<b>◆事業の成果の検証</b> ・意図された成果を挙げているか ・成果を向上させる余地はないか	A	十分な成果を挙げている事務事業
		B	一定の成果を挙げている事務事業
		C	一部に対して成果を挙げている事務事業
		D	成果が挙げられず、継続しても成果の向上が期待できない事務事業
効率性	<b>◆事業費及びコストの検証</b> ・最小の経費で最大の効果を挙げているか ・受益者負担は適正か ・対象の範囲は適正か	A	事業費及び実施手法が適切で、効率性の高い事務事業
		B	事業費及び実施手法が概ね適切な事務事業
		C	事業費及び実施手法は概ね適切だが、一部見直しが必要な事務事業
		D	事業費及び実施手法の大幅な見直しが必要な事務事業
関与性	<b>◆事業への関与の検証</b> ・事業の実施主体は適切か ・特定の個人や団体に利益が偏っていないか ・民間サービスと競合していないか	A	法令等で市が実施主体であることが定められた事務事業
		B	市民サービスのため市が実施主体となるべき事務事業
		C	市が民間サービスを補完している事務事業
		D	民間が実施主体となるべき事務事業

⑤総合評価として、次の区分により、事務事業の今後の方向性を評価しました。

区分	基準
拡 充	施策の成果向上を図るための貢献度が非常に高く、さらに充実した取組が必要と判断される事務事業
継 続	施策の成果向上を図るための貢献度が高く、継続した取組が必要と判断される事務事業
縮 小	施策の成果向上を図るための貢献度が低下しており、事業手法や実施体制等を見直して縮小する必要があると判断される事務事業
完 了	所期の目的や成果を達成し、完了した事務事業
廃止(休止)	継続しても目的の達成や成果の向上が困難であるため、廃止(休止)する事務事業

## 点検・評価の結果

各評価項目の集計結果は次のとおりです。

### ①妥当性

評価区分		事務事業数	割合 (%)
A	市民等のニーズが高く、目的が市総合計画に合致している事務事業	20	46.5
B	市民等の一定のニーズがあり、目的が市総合計画に沿った事務事業	22	51.2
C	市民等のニーズはあるが、時代変化により目的が薄れてきている事務事業	1	2.3
D	市民等のニーズや社会変化に全く適応していない事務事業	0	0.0
		43	100.0

市民等のニーズの高さは異なるものの、すべての事務事業について、妥当性はあると評価しています。「C」評価の1事業は、総合評価を「継続」と判断しているため、今後、適切にニーズを把握し、事業の活性化を図ることとしています。

### ②有効性

評価区分		事務事業数	割合 (%)
A	十分な成果を挙げている事務事業	12	27.9
B	一定の成果を挙げている事務事業	26	60.5
C	一部に対して成果を挙げている事務事業	5	11.6
D	成果が挙げられず、継続しても成果の向上が期待できない事務事業	0	0.0
		43	100.0

38事業、約88%の事務事業について、「十分な成果を挙げている」又は「一定の成果を挙げている」と評価しています。「一部に対して成果を挙げている事務事業」については、事務事業の性質上やむを得ない場合もあることから、それぞれの内容等を精査し、さらに有効性を高めるように努めます。

### ③効率性

評価区分		事務事業数	割合 (%)
A	事業費及び実施手法が適切で、効率性の高い事務事業	9	20.9
B	事業費及び実施手法が概ね適切な事務事業	28	65.1
C	事業費及び実施手法は概ね適切だが、一部見直しが必要な事務事業	6	14.0
D	事業費及び実施手法の大幅な見直しが必要な事務事業	0	0.0
		43	100.0

37事業、約86%の事務事業について、「事業費及び実施手法が適切で、効率性の高い事務事業」又は「事業費及び実施手法が概ね適切な事務事業」と評価しています。「事業費及び実施手法は概ね適切だが、一部見直しが必要な事務事業」と評価している6事業については、今後見直しを行い、さらに効率性を高めるように努めます。

#### ④関与性

評価区分		事務事業数	割合 (%)
A	法令等で市が実施主体であることが定められた事務事業	10	23.3
B	市民サービスのため市が実施主体となるべき事務事業	28	65.1
C	市が民間サービスを補完している事務事業	5	11.6
D	民間が実施主体となるべき事務事業	0	0.0
		43	100.0

38事業、約88%の事務事業について、「法令等で市が実施主体であることが定められた事務事業」又は「市民サービスのため市が実施主体となるべき事務事業」と評価しています。「市が民間サービスを補完している事務事業」と評価している5事業についても、いずれも総合評価は「継続」と判断しています。

#### ⑤総合評価

評価区分		事務事業数	割合 (%)
拡 充	施策の成果向上を図るための貢献度が非常に高く、さらに充実した取組が必要と判断される事務事業	3	7.0
継 続	施策の成果向上を図るための貢献度が高く、継続した取組が必要と判断される事務事業	39	90.7
縮 小	施策の成果向上を図るための貢献度が低下しており、事業手法や実施体制等を見直して縮小する必要があると判断される事務事業	1	2.3
完 了	所期の目的や成果を達成し、完了した事務事業	0	0.0
廃止 (休止)	継続しても目的の達成や成果の向上が困難であるため、廃止(休止)する事務事業	0	0.0
		43	100.0

総合評価については、「拡充」が3事業、「継続」が39事業となっています。「縮小」と評価した1事業については、関係機関と連携し、市民サービスの低下につながらないように配慮します。

## 学識経験者の知見の活用について

教育委員会が自己点検・評価した結果に客観性・透明性を持たせるため、教育に関し学識経験を有する点検評価委員から外部評価者としてのご意見をいただきました。

今回のご意見の概要は次のとおりで、次年度以降の課題解決への参考といたします。

### ■下松市教育委員会事務事業点検評価委員

氏名	役職等
梅田幸子	山口県文化財保護審議会委員 元下松市教育委員会委員
兼弘富士巳	社会教育委員 元豊井小学校校長
岩本達彦	花岡保育園園長 元花岡小学校校長

### ■各事務事業に関する意見

#### 【No.1】学校施設の整備充実

- 令和元年度に普通教室にエアコンが設置されることは喜ばしいが、特別教室のエアコンの設置も計画的に行ってほしい。
- 子どもが増えることは、学校、ひいてはまちの勢いが増すことである。施設の整備が順調に進められていることは、ありがたい。できるだけ速く。
- 「下松市学校施設耐震化計画」に基づき、計画的に施設の整備がなされている。
- 児童生徒数の推移を注視しながら、教室数の確保や教育機器(種類・個数等)の導入、予算確保等を行ってほしい。

#### 【No.2】学校用地の借地に関する事務

- 学校用地の借地解消については、地主の世代交代が進まぬうちに解決できるように努力してほしい。
- 地権者と直接折衝することが難しい中、大変なご苦勞をおかけしている。今後も粘り強く折衝をお願いしたい。
- 借地買い取りについて、地権者との交渉を継続して取り組み、借地解消を図ってほしい。

#### 【No.3】教育機器等の充実

- ICT環境整備をすすめるとともに、配備された機器が有効に活用されているかの検証も必要であると思う。
- 下松市は、近隣のまちに比べても、教育機器はかなり充実している。大変ありがたい。購入された機器が有効に活用されるよう期待したい。
- ICT教育の充実に向けた環境整備や教育機器の活用についての研修を学校教育課や学校と連携して導入してほしい。



#### 【No. 4】学校図書館の充実

- ・ いずれの小中学校とも蔵書整備 100%を達成している。蔵書管理においては、市図書館及び各校の図書支援員の役割に負うところが大きい。両者の協力を仰ぎ充実させていってほしい。
- ・ 蔵書整備率が100%を超えていることはありがたい。有効に活用され、更新していく上で、市図書館との連携は大切であると思う。
- ・ 今後も計画的に図書の購入、廃棄を進めてほしい。

#### 【No. 5】学校給食の充実

- ・ アレルギーについては、中学校は「自己管理」となっているが、学校・家庭との連携のもと、慎重に取り組んでほしい。
- ・ 中学校給食センターは、施設の更新の時期を迎えているが、将来的には小学校給食センターのある葉山へ移すことも考えてみてはいかがか。
- ・ 給食費の徴収率が高まったことは、いろんな面で大変良い。  
学校給食の目的に合った食材やメニューの工夫、給食費の徴収などにしっかりとした取組がなされている。
- ・ 給食施設整備や保守点検、更新などを計画的に実施してほしい。

#### 【No. 6】学校規模の適正化

- ・ 令和2年度から休校となる米川小学校については、スクールバスの運行、施設管理等について地域住民、保護者と十分に話し合いの場を持つ必要がある。
- ・ 地域住民の意向を大切にしながらの統廃合は、大変ありがたい。スクールバスの運行も、児童・生徒の都合、安全を第一に進めてほしい。
- ・ 米川小学校の休校(令和2年度)に伴い、スクールバスの運行増が見込まれるので、運行・管理について、児童・生徒の安全第一を考慮して取り組んでほしい。
- ・ 学校規模の適正化や適正配置について、保護者や地域の意向を尊重するとともに、地域実態を踏まえた取組はとてもよい。

#### 【No. 7】下松市海外語学研修生派遣事業

- ・ 小学校における英語の教科化に伴い、小学校教諭の英語力の向上が求められている。この派遣事業が、その一助になればと希望する。
- ・ 派遣前の研修では、日本の児童・生徒の代表であるとの意識と共に、日本固有文化の紹介者であることも、自覚させてほしい。テーマを持たせてはどうか。
- ・ 研修の成果について、保護者や一般市民に広く発表する機会を設けてほしい。
- ・ 英語が小学校において教科化されることから、小学校教員の派遣研修の取り組みはよい。また、上記の事や応募生徒の減少などから、光市、上関町と調整等を図り、小学校6年生の派遣を検討していくことも必要なのでは？
- ・ 派遣の現状を把握するという意味から、教育委員会の職員を派遣してみては？

#### 【No. 8】小学校ALT派遣

- ・ 令和2年からの英語教育全面実施に向けて、中学校ALTを放課後小学校に派遣し、小学校教員の資質向上に力を入れるなど、その取組は有意義である。
- ・ 新学習指導要領の全面実施に向けて、小学校ALT派遣の意義は大きい。児童のみでなく、放課後、教員の研修にも役立てたい。
- ・ 下松市独自の取組はとても良いと思う。
- ・ 令和2年度からの学習指導要領の全面実施に向けて、小学校教員とALTのよりよい連携、関係作りをさらに進めてほしい。

#### 【No.9】中学校ALT派遣

- ・ 英語を「教科」としてだけでなく、ALTとの触れ合いを通して楽しみながら身につけることができる。「生の英語」に触れる貴重な体験である。
- ・ 英語教育の中で、英語圏の人の生の言葉を聞くこと、対話することは一段と大切になっている。ALTの役割は大きく、効果をあげている。
- ・ 中学校教員とALTのよりよい連携、関係作りをさらに進めてほしい。
- ・ 生徒とALTが授業時間以外でもふれあうことができるのは、とても良い取組だと思う。

#### 【No.10】教員補助員の配置

- ・ 下松市では、特別な配慮を要する児童生徒に対しての加配が充実している。この施策はこれからも続けてほしい。
- ・ 下松市は、小・中学校普通学級への教員補助員の配置について、継続的に深い配慮を払って頂いていることは大変ありがたい。
- ・ 個に応じた対応や教育的内容が年々多様化する中で、補助員を確保して、対応に当たっていることは、保護者の信頼を得ることができ、教員にとっても対応が十分できるのでとてもよい。

#### 【No.11】心豊かな子どもを育てる推進事業

- ・ 学校・地域を中心にしたものが多く、どうしても地域差が生じている。全市で取り組むあいさつ運動は、続けて欲しい。
- ・ いじめについては、小・中とも学校としてきめ細かくその兆しをとらえる努力がなされている。緊張感を持って対応されたい。
- ・ あいさつ運動は、継続して意が注がれている。学校で工夫もある。
- ・ あいさつ運動やいじめ防止に向けた取組等は、教育委員会が中心となり、学校、地域、保護者を巻き込んだ取組がなされている。
- ・ コミュニティスクール推進事業をもっとPRするとともに、心豊かな子どもの育成に積極的に取り組んでほしい。
- ・ 「こども110番」の位置や場所、在宅等の確認を関係機関と連携して取り組んでほしい。

#### 【No.12】下松市教育支援センター

- ・ 不登校児童生徒は増加しているが、関係機関と連携を取りながら、保護者を含めて支援していることは評価される。
- ・ 不登校は、児童・生徒本人の心の問題と、家庭環境によるものがあるようで、「希望の星ラウンジ」の運用と共に、家庭訪問等も必要ではなかろうか。
- ・ 不登校児童生徒に多くの指導員や心理カウンセラーなどがきめ細かな対応をしている。
- ・ 不登校児童生徒の学校への復帰や進学について、学校、保護者等と連携して取り組んでほしい。

#### 【No.13】下松市カウンセリングルームや心の教室相談員の活用

- ・ 相談内容の多様化、特に家庭の問題にまで及んできていることから「スクールソーシャルワーカー」の配置は的を射ていると思う。不登校児に対して保健室対応の学校が多いが、それ用のスペースの確保が必要なのではあるまいか。
- ・ 社会の変動や、通信伝達機器の発達により、子どもを取り巻く環境は、大きく変化し、子どもの抱える問題も、複雑多様化している。このような状況から、相談機関・機能

の一層の充実を望みたい。

- ・ 児童生徒や保護者が抱える諸課題や問題が多岐にわたり対応が難しいと思われるが、スクールカウンセラーや心の相談員(全中学校)を配置したりして真摯に取り組んでいる。

#### 【No.1 4】コミュニティ・スクール推進事業

- ・ 下松市独自予算での事業だが、各学校でその取組には温度差があるように思う。連携を図る上でも、中学校校区単位での交流が必要なのではないだろうか？
- ・ 下松市は以前から、学校・家庭・地域の連携、協力の体制はかなり整っていた。いま、組織が有効に活動するには、コーディネーターの役割は、かなり大きいものがある。その選任は重要である。
- ・ 信頼される学校づくりに学校、家庭、地域が一体となった取組がなされている。

#### 【No.1 5】学校ガードボランティアの推進

- ・ 県警の取り組んでいる「こども 110 番」と連携して登下校時における児童生徒の安全を見守っていくことも必要と思われる。
- ・ 学校ガードボランティア、実数はあまり減っていないということで安心した。地域と連携を密にし、新規ボランティアを確保していきたい。
- ・ 学校ガードボランティアの方の高齢化が進み、ボランティアの減少が見られることから、新規のガードボランティアの確保が重要になってくるので一人でも多くのボランティアを確保してほしい。

#### 【No.1 6】就学援助費交付事業

- ・ 前々年度の所得で確定し、3/20 に支給するなど、保護者のニーズを考慮した取組だが、周知の徹底を図る必要がある。
- ・ 真に援助を必要とする家庭に、確実に補助が届くように配慮運営を。常に実態の確実な把握をしてほしい。
- ・ 就学援助を受ける家庭に、入学、進級の準備のため、前倒しでの支援が行われることはよい。
- ・ 就学援助を受ける家庭が年々増えることを想定して、予算の確保をお願いしたい。

#### 【No.1 7】放課後子ども教室・家庭教育支援推進事業

- ・ 「地域で子どもを育てる」観点から、それぞれ地域の实情に合わせた取組が素晴らしい。末武地区の「地域未来塾」の今後に期待したい。
- ・ 市内全域での放課後子ども教室は、効果・実績をあげているが、多くスタッフの無償の努力のおかげである。末武地区の「地域未来塾」は他地域にも広がってほしい。
- ・ 公民館や学校施設を活用した体験活動の取組はとてもよい。
- ・ 末武地区の「地域未来塾」の取組を、下松地区、久保地区へと広げることや放課後子ども教室間の連携や情報交換、地域の人材の活用や人員の確保等について取り組んでほしい。

#### 【No.1 8】子ども会活動支援事業

- ・ 子どもの数の減少に加え、子ども会未加入の世帯が増えるなど、下松市の子ども会は減少傾向にある。子ども会育成連絡協議会とも協議し、行事の工夫など实情に合わせた取組が求められる。
- ・ 子ども会の、「子ども」「育成する役」とも、年々動いていく。子ども会の在り方を知らせる上で、優良子ども会表彰をなんとか活用できないか。
- ・ 家庭、保護者の考え方により、子どもの加入率の低下や団体の減少が見られるので、

子ども会の活動についての情報提供や他団体と連携を図り、子ども会活動の活性化を図ってほしい。

#### 【No.1 9】 青少年の健全育成活動

- ・ 青少年が気軽に出入りするコンビニ、カラオケボックス、ビデオ店などに協力店舗の表示をしていただき、地区育成協議会との連携を図ってほしい。
- ・ 市内3地区(久保、花岡、中村)に加え、中央地区の青少協立ち上げの動きが出てきたことは大変喜ばしい。ぜひ成立を見たいものである。末武地区もなんとかならないものだろうか。核になる人が大切。
- ・ 青少年の健全育成について、関係機関、組織等と連携して様々な活動に取り組んでいる。

#### 【No.2 0】 子どもの読書活動の促進

- ・ 子どもたちが、自分の必要とする知識を分類番号から調べて得ることができるのは「星ふるまちの図書館教育」の成果であろう。
- ・ 郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブの活用により、子どもたちが、より身近に郷土を感じ、故郷に愛着・誇りを持てることは好ましい。学校図書館支援は、読書意欲向上に有効である。
- ・ 子どもたちの読書の充実に向けて意欲的な取組がなされている。(読書通帳は、子どもの財産になっている。)
- ・ 市内小学校への出前講座で、図書館活用術に取り組むことは大変いいことで、子どもたちの読書活動の意欲化や保護者の啓発に繋がる。

#### 【No.2 1】 啓発・情報提供の推進活動事業

- ・ 「ねえ」は年2回発行で、子育て世代へ情報提供をしているが、5名のボランティアスタッフでは活動に無理が生じるのではないだろうか。活性化を図るためにもスタッフの増員が求められる。
- ・ 啓発、情報提供は、常に変化改変されなければ受け入れられにくい。スタッフへの加入、若返りのための人材発掘が必要になっている。
- ・ 情報誌「ねえ」の発行はよいが、ボランティアの固定化、内容のマンネリ化を考慮し、新規ボランティアを募集し、活動の活性化を図ってほしい。

#### 【No.2 2】 青少年相談業務

- ・ 悩みを持つ青少年にとって「応えてくれる相手がいる」ということは、心強いことである。各所と連絡を密にして相談業務にあたってほしい。
- ・ 身近な相談機関として、なくてはならない窓口である。業務の周知、情報発信を図るとともに、関係する他機関とも常に連携を保ってほしい。
- ・ 「ヤングテレホンくだまつ」の継続や情報提供(PR)をしてほしい。

#### 【No.2 3】 公民館施設管理整備事業

- ・ 指定管理者制度に向けての各地区自治会連合会、あるいは地区福祉協議会との話し合いは、円滑な運営に向けて、あらゆる事態を想定しながら充分に行ってほしい。
- ・ コミュニティの拠点であり、生涯学習推進の場である公民館の管理者の人選は極めて大切である。現在の管理者では優れた管理運営がなされている。
- ・ 「公民館施設設備計画」に基づき、各公民館施設の耐震化や建て替えを計画的に進めてほしい。

#### 【No.2 4】 図書館の充実

- ・ 「下松市郷土資料館・文化遺産デジタルアーカイブ」は、下松市の歴史を学ぶ上で有益である。郷土に誇りを持つ子どもたちを育て、「まちづくり」に活かしていくことができる。
- ・ 郷土資料のデジタルアーカイブは、この地域の文化遺産を伝えていく上で有効であり、切山歌舞伎等新たな文化遺産のアーカイブは効果大であろう。更に島の学び舎の資料についても広げてほしい。
- ・ 下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブを子どもたちが使いやすいようにするための工夫をしてほしい。(デジタル化?)
- ・ 学校教員対象のトワイライトセミナーはとてもよい取組だと思う。
- ・ 図書館職員の対応(サービス等)がとてもよい。

#### 【No.25】移動図書館の充実

- ・ 市内 54 か所にステーションを設置し、市民と図書館をつなげている。保育園、福祉施設などを加え「身近な図書館」として市民に親しまれている。交通事情等に気を付けて続けてほしい。
- ・ 下松市一つだけの図書館であるから、移動図書館は市民の文化を支える上で大切な力である。市民の動向を見守りながら、巡回ステーションの見直しを心掛けてほしい。
- ・ 図書館に来館できない方のための移動図書館は、大変ではあるが続けてほしい。

#### 【No.26】文化会館管理事業

- ・ 下松市の文化施設として内外からの利用者の多い施設である。平成 29 年、30 年の大改修後も、利用者の利便性に配慮しながら維持補修をしていってほしい。
- ・ リニューアル後も、市の中心的文化施設として有効に活用されていることは嬉しい。活用の幅を増やす取組も必要であろう。
- ・ 平成 29・30 年度の開館以来の大規模改修で、快適に活用できるようになった。

#### 【No.27】下松市生涯学習支援事業

- ・ 本年 28 年目を迎えた、星のまちカレッジ・アフター5 インくだまつは、市民が企画運営に携わり行政がバックアップするという官民一体の生涯学習の講座である。参加型のモデルケースとして、これからも多くの市民の受講を希望している。
- ・ アフター5 インくだまつは、自主運営のスタッフに常に新しいメンバーを加え、ますます充実したものになっている。見習うべきものがある。出前講座、活用を広げる工夫を。
- ・ とくどく情報の作成、くだまつアカデミーや星のまちカレッジ(after 5 in くだまつ)などにしっかりと取り組んでいる。
- ・ 人を増やす(多様な年齢層)、知恵を増やす(経験を生かす)、自立(自主運営)等も必要なのではないか?

#### 【No.28】芸術文化の振興

- ・ 市美展への若年層の出品を促し、その育成に力を入れてほしい。
- ・ 市美展は、領域を改変する事で、関心の層が広がったように思われる。芸術文化功勞は、市での表彰の充実を図るとともに、県への推薦の強化を望む。
- ・ 芸術、文化の振興に功績のあった者(団体)等の表彰や各文化行事への補助、芸術作品の鑑賞の場の提供等、しっかりと取り組んでいる。

#### 【No.29】吹奏楽の活動支援

- ・ 「吹奏楽のまち くだまつ」を盛り上げるための、さまざまな工夫がみられる。総会の開催は市民の関心を集めており、会員増強につながる。

- ・ 吹奏楽のまちくだまつを拡充する上で、「総会」開催は有効である。会員増加に努めたい。
- ・ 下松吹奏楽協会と連携した取組はとてもよいと思う。
- ・ 会員募集や小・中・高・社会人等の吹奏楽部員の確保も必要と思われる。

#### 【No.3 0】文化財保護事業

- ・ 下松市には、様々な「指定文化財」がある。特に埋蔵文化財に関していえば、専門知識を持った職員が不可欠である。市内で知識を持っておられる方の活用を考えてはどうか？
- ・ 文化財保護には、専門的な知識・技能を必要とする。学芸員とは言えないまでも、市民の中にも知識を持つ人もいると思う。発掘していきたい。
- ・ 「八代のツル」のねぐら整備に対する負担金については、現状を確認して検討する必要があるのではないか。
- ・ 下松市の文化財に関しては補助金の交付や各種団体等との連携した取組ができている。

#### 【No.3 1】レクリエーションスポーツの普及

- ・ 年齢を問わず、市民が気軽に楽しめるレクスポの普及は「ふれあいの場」を作れるという点においてもよいことである。
- ・ ノルディックウォーキングは、その後具体的にはどのように取り組まれているだろうか。
- ・ スポーツイベントや出前講座においてレクリエーションスポーツの体験・啓発、情報提供に努めている。

#### 【No.3 2】健康・体力づくり運動の推進

- ・ ニーズの高い水泳教室は、講師の人材確保を始め参加者の希望を取り入れた取組を工夫してほしい。
- ・ 現在、下松市ではいくつかの体操がつくられている。普及の方策を考える必要があるように思う。
- ・ 水泳教室は好評で、引き続き指導者の確保をしながら継続してほしい。
- ・ 高齢者対象の健康教室は、今後も必要となることから、指導者を確保することが難しいと思われるが、継続してほしい。

#### 【No.3 3】スポーツイベントの充実

- ・ 市民体育祭が、公民館区対抗をやめて個人参加になり「市民スポーツフェスティバル」という形になったことで、気軽にスポーツを楽しめる環境が整ったのではないだろうか。
- ・ 市民体育祭をスポーツフェスティバルへ。今年度実施後、その功罪を評価することで、対策・対応が次年度へ活かされると思う。
- ・ あらゆる世代が楽しめるスポーツ種目によるイベントを工夫している。
- ・ スポーツボランティアの仕組み作りや確保をお願いしたい。

#### 【No.3 4】スポーツによるまちづくり

- ・ 「わがまちスポーツ」であるバドミントンで、キャンプを誘致して講演の機会を設けるなど、市民が一流のアスリートを身近に見てスポーツへの関心を高める良い機会をつくっている。とても良いことである。
- ・ スポーツボランティアバンク制度は、バンク登録者を増やすことで大きな力となる。登録制度の周知により、普及、充実に期待したい。

- ・ 「わがまちスポーツ」(ハンドボール・バドミントン)を中心に、各種スポーツを活用し、地域・学校・民間企業等と協働して取り組まれている。

#### 【No.3 5】スポーツ組織の育成・支援

- ・ スポーツ少年団は、青少年の健全育成の観点からも有効である。指導者の育成や団体間の交流など、支援して欲しい。
- ・ スポーツ少年団の指導・育成者は、青少年健全育成の上でも大きく貢献している。指導者の支援が大切である。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの拡大やスポーツ組織のリーダーの発掘、養成(育成)の必要がある。
- ・ 少子化に伴うスポーツ少年団員の確保について、関係諸団体と連携して団員の増加に工夫して取り組んで欲しい。

#### 【No.3 6】指導者の育成・確保

- ・ 指導者インストラクターは、全市的に呼びかけて「指導資格を有する人」を選ぶとよいのではないだろうか。公民館単位で選ばれる推進委員の育成と発掘が容易になると思う。
- ・ スポーツの振興は、指導者、リーダーに負うところが大きい。指導者発掘の機会を探ることが大切であろう。
- ・ 最近では、スポーツをする人口が減少し、それに伴い指導者も高齢化、減少していることを考慮し、後継者の確保や人材の発掘が必要である。

#### 【No.3 7】競技スポーツの振興

- ・ 全国大会出場者の広報、スポーツ表彰など、市民に認知を図り応援する機運を盛り上げてほしい。全国大会出場奨励金については周知を図る必要がある。
- ・ バドミントン、ベトナム選手団練習場誘致は、市の競技技術の向上、関心の向上に良い機会である。有効に活用してほしい。
- ・ 下松市として重点を置くハンドボールやバドミントンを中心として、他の競技のレベルアップに関係団体と連携して取り組んでいる。

#### 【No.3 8】生涯スポーツ施設の整備充実

- ・ 市民、団体の利用が多いスポーツ公園体育館の空調整備工事に着手されるのは、大変喜ばしい。利用の促進につながる。
- ・ 青少年の人口が増えている本市、この際施設の一層の拡充を希望する。武道館は競技人口との兼ね合いもあるが、考慮してほしい。
- ・ 老朽化した体育施設(市民体育館や武道館)の整備・改修を計画的に進めてほしい。
- ・ 器具や備品の定期的な整備、点検を行い、安全性を確保するとともに、利用者のニーズに合った器具や備品の購入を検討してほしい。

#### 【No.3 9】心豊かな人づくり事業

- ・ 「童謡フェスタ」は、12月の恒例行事として定着してきている。生活の中にもっと「童謡」を活かすよう「まちづくり」としての取り組みにまで広げ「童謡のまち くだまつ」をアピールできないだろうか。
- ・ 「くだまつ親子の日」は少しずつ認知が広まっているが、情報発信により、さらなる周知を図る必要があるのではないかと。
- ・ 「笑い」と「花」と「童謡」を3本の柱とする「心豊かな人づくり事業」が定着してきている。
- ・ 「くだまつ親子の日普及推進プロジェクト事業」を通じて、「くだまつ親子の日」の

普及、啓発に努めてほしい。

#### 【No.4 0】下松市成人式

- ・ 下松市の成人式は、実行委員会形式で行われ成功をおさめている。令和4年から改正民法で、成人年齢が18歳に引き下げられるが、これについても早めに検討していく必要がある。
- ・ 新成人を主体とした実行委員会形式の下松市の成人式は、整然とした形が保たれている。適切な助言が効果を高めているものと思う。18歳成人については、ゆっくり対応を考えたい。
- ・ 下松市の成人式はとてもよい。令和4年4月に施行される改正民法により、18歳か20歳かの検討を進めていく必要がある。

#### 【No.4 1】下松市民憲章推進によるまちづくり

- ・ 市民憲章制定50周年を機に、各小学校で「10年後のくだまつを夢見て」と題して、子どもたちがまちづくりを考える取組が実施されることは、とても良い試みだと思う。
- ・ 市民憲章制定50周年を機に、憲章のこころを根付かせる試みとしての、小学生の集いは、ぜひ成功させたい。
- ・ 市民憲章制定50周年に向けた事業を、市制80周年と絡め計画的に実施してほしい。
- ・ 加入団体と連携し、市民憲章の精神(こころ)を市民生活の中に根付かせるための取組や、加入増加に繋がる取組をしてほしい。

#### 【No.4 2】下松市連合婦人会活動支援

- ・ 地域への貢献という点では、その活動は目覚ましいが、新会員の加入が少なく、高齢化に伴い会員各位の負担が増加しつつあるという点に危惧を覚える。
- ・ 連合婦人は、社会教育団体の中でも際立って地域に根差した重要な活動団体である。会員増や行事などに積極的な支援をお願いしたい。
- ・ 会員の高齢化と若年層会員の減少に歯止めをかけるために連合婦人会組織と連携して、研修会や体育祭等の行事に取り組むとともに、会員の確保を工夫してほしい。

#### 【No.4 3】人権教育

- ・ 「人権を考えるつどい」は、素晴らしい講師を選んでいる。参加者の増加に向けた取組が望まれる。
- ・ 「人権を考えるつどい」は毎回素晴らしい講師を招き、効果をあげているが、市民の参加が減少しているのは残念。参加を促す方策はないだろうか。
- ・ 虐待やいじめ、不登校、人種差別等、人権に関する事案が多い中、研修講座や人権を考えるつどいの開催や情報提供、視聴覚教材の整備、リーフレット等の作成に努めている。



## 事務事業の評価結果

政策番号・基本施策名		事業費 単位：千円		総合 評価	担当課
No.	事務事業名	H29年度	H30年度		
5-1-1 小・中学校教育環境の充実					
1	学校施設の整備充実	693,002	962,020	継続	教育総務課
2	学校用地の借地に関する事務	17,792	17,792	継続	教育総務課
3	教育機器等の充実	63,751	68,492	拡充	教育総務課
4	学校図書館の充実	6,379	6,457	継続	教育総務課
5	学校給食の充実	424,155	423,988	継続	学校給食課
6	学校規模の適正化	21,320	26,902	継続	教育総務課
5-1-2 小・中学校教育の推進					
7	下松市海外語学研修生派遣事業	5,351	5,203	継続	教育総務課
8	小学校ALT派遣	3,822	6,889	継続	学校教育課
9	中学校ALT派遣	5,002	5,362	継続	学校教育課
10	教員補助員の配置	23,947	25,945	継続	学校教育課
11	心豊かな子どもを育てる推進事業	647	679	継続	学校教育課
12	下松市教育支援センター	8,484	8,684	継続	学校教育課
13	下松市カウンセリングルームや心の教室相談員の活用	3,020	2,987	継続	学校教育課
14	コミュニティ・スクール推進事業	4,658	6,271	継続	学校教育課
15	学校ガードボランティアの推進	392	347	継続	学校教育課
16	就学援助費交付事業	68,507	63,152	継続	学校教育課
5-2-1 青少年の健全育成					
17	放課後子ども教室・家庭教育支援推進事業	726	715	継続	生涯学習振興課
18	子ども会活動支援事業	486	480	継続	生涯学習振興課
19	青少年の健全育成活動	121	191	継続	生涯学習振興課
20	子どもの読書活動の促進	540	540	継続	図書館
21	啓発・情報提供の推進活動事業	356	344	継続	生涯学習振興課
22	青少年相談業務	60	61	継続	生涯学習振興課

5-2-2 生涯学習施設の充実					
23	公民館施設管理整備事業	75,971	92,199	拡充	生涯学習振興課
24	図書館の充実	69,016	74,531	拡充	図書館
25	移動図書館の充実	3,655	4,272	継続	図書館
26	文化会館管理事業	210,015	482,211	継続	生涯学習振興課
5-2-3 生涯学習の推進					
27	下松市生涯学習支援事業	924	645	継続	生涯学習振興課
5-3-1 文化の振興と文化財保護					
28	芸術文化の振興	1,552	1,343	継続	生涯学習振興課
29	吹奏楽の活動支援	784	784	継続	生涯学習振興課
30	文化財保護事業	5,027	2,297	継続	生涯学習振興課
5-3-2 スポーツの推進					
31	レクリエーションスポーツの普及	205	239	継続	生涯学習振興課
32	健康・体力づくり運動の推進	616	505	縮小	生涯学習振興課
33	スポーツイベントの充実	784	514	継続	生涯学習振興課
34	スポーツによるまちづくり	2,600	4,150	継続	生涯学習振興課
35	スポーツ組織の育成・支援	1,762	1,762	継続	生涯学習振興課
36	指導者の育成・確保	2,007	2,575	継続	生涯学習振興課
37	競技スポーツの振興	1,313	2,025	継続	生涯学習振興課
38	生涯スポーツ施設の整備充実	52,584	55,999	継続	生涯学習振興課
5-3-3 多様な交流の展開					
39	心豊かな人づくり事業	3,498	3,300	継続	生涯学習振興課
6-1-3 市民参加と協働の推進					
40	下松市成人式	762	868	継続	生涯学習振興課
41	下松市民憲章推進によるまちづくり	220	220	継続	生涯学習振興課
6-1-4 コミュニティの形成					
42	下松市連合婦人会活動支援	81	81	継続	生涯学習振興課
6-2-1 人権の尊重					
43	人権教育	1,669	2,142	継続	生涯学習振興課



令和元年度（平成30年度対象）

事務事業評価シート

## 事務事業評価シート【No.1】

第5章	教育文化	事務事業名	学校施設の整備充実
第1節	学校教育の充実		
1	小・中学校教育環境の充実		
(1)	学校施設の整備充実	担当課名	教育総務課

### 1 事業内容

学校施設の適切な維持管理を行い、児童生徒が安心して学校生活をおくるため、下松市学校施設耐震化基本計画に基づき、耐震化を進めるとともに、老朽化した施設の改修・改築を行う。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	693,002	H30年度	962,020	R元年度	2,050,312
-------	---------	-------	---------	------	-----------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	下松小学校管理特別教室棟建設工事	5	豊井小学校校内LAN整備工事
2	中村小学校屋内運動場改築工事 実施設計 準備工事	6	豊井小学校屋内運動場屋根改修工事下
3	花岡小学校第3校舎空調設置工事	7	下松中学校 久保中学校 特別支援教室 空調設備設置工事
4	東陽小学校校内LAN整備工事	8	一般工事・修繕

### 5 事務事業の今後の課題

学校施設の耐震化については、令和2年度までに完了させる予定としている。また、計画的な老朽改修、トイレ洋式化及び空調整備設置等を進めるため、長寿命化計画を策定し、学校施設の適切な維持管理に努める必要がある。

今後の児童生徒数の推移を注視しながら、必要な教室数の確保等、適切に対応していく必要がある。

## 事務事業評価シート【No. 2】

第5章	教育文化	事務事業名	学校用地の借地に関する事務
第1節	学校教育の充実		
1	小・中学校教育環境の充実		
(1)	学校施設の整備充実	担当課名	教育総務課

### 1 事業内容

小学校4校の借地について、賃貸借契約を継続するとともに土地を買収する交渉を進める。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	C	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	17,792	H30年度	17,792	R元年度	17,253
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番 号	業 務 名	番 号	業 務 名
1	学校用地賃貸借事務		
2	学校用地取得		

### 5 事務事業の今後の課題

学校用地については、買い取り等による借地解消を図るため、所有者との交渉を継続していく。  
また、借地料のあり方について所有者との共通認識が必要である。

## 事務事業評価シート【No. 3】

第5章	教育文化	事務事業名	教育機器等の充実
第1節	学校教育の充実		
1	小・中学校教育環境の充実		
(2)	教育機器等の充実	担当課名	教育総務課

### 1 事業内容

教育機器・教材備品整備の充実に努め、また、情報教育推進のためパソコンの整備、校内LANの無線化等、ICT教育の充実に向けた検討を計画的に進める。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	B	B	拡充

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	63,751	H30年度	68,492	R元年度	90,310
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	学校配当予算の執行管理に関する事務		
2	補助対象備品に関する事務		

### 5 事務事業の今後の課題

今後は、学習指導要領の改訂に併せ、ICT環境整備の方針を策定し、授業でより有効に使用できる情報機器の追加整備を検討する必要がある。

## 事務事業評価シート【No.4】

第5章	教育文化	事務事業名	学校図書館の充実
第1節	学校教育の充実		
1	小・中学校教育環境の充実		
(3)	学校図書館の充実	担当課名	教育総務課

### 1 事業内容

小・中学校の図書館において、蔵書の充実を計画的に進め、教育活動への有効活用を図る。
---

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	6, 379	H30年度	6, 457	R元年度	6, 576
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	学校配当予算の執行管理に関する事務		
2	学校図書館図書整備		

### 5 事務事業の今後の課題

標準蔵書数に対する整備率は、概ね100%を達成している。今後も計画的に図書の購入・廃棄を行い、標準蔵書数の維持に努める。
--



## 事務事業評価シート【No.5】

第5章	教育文化	事務事業名	学校給食の充実
第1節	学校教育の充実		
1	小・中学校教育環境の充実		
(4)	学校給食の充実	担当課名	学校給食課

### 1 事業内容

学校給食の教育的意義を尊重し、楽しく豊かなよりよい学校給食の実施に向け、地産地消の取組や食に関する情報発信などを関係各課と連携して行っている。学校給食の目的に合ったバランスの取れた給食を提供するため、月ごとにテーマを決め、そのテーマに沿った献立を作成している。

また、小学校では乳及び卵アレルギーの除去食対応の実施、中学校では食生活における自己管理能力を高めるため、副食複数メニューによるセレクト給食を行っている。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	424,155	H30年度	423,988	R元年度	462,124
-------	---------	-------	---------	------	---------

### 4 事務事業を構成する業務

番 号	業 務 名	番 号	業 務 名
1	給食センター管理運営業務		

### 5 事務事業の今後の課題

小学校給食センターは平成28年9月から稼働開始し、異物の混入や食中毒が発生しないように衛生管理等に注意し、食育やアレルギー対応について計画的に継続する必要がある。

中学校給食センターは平成8年4月稼働開始から22年が経過しているため、施設・設備の保守点検や更新を行いながら学校給食衛生管理基準に基づく施設整備を計画的に実施していく必要がある。

平成29年度から開始した学校給食費の公会計化により口座振替の推進を行い、振替不能等の督促などを行い高い徴収率を維持するよう努める。

## 事務事業評価シート【No.6】

第5章	教育文化	事務事業名	学校規模の適正化
第1節	学校教育の充実		
1	小・中学校教育環境の充実		
(5)	学校規模の適正化	担当課名	教育総務課

### 1 事業内容

<p>廃校となった学校の残余施設の管理を行う。</p> <p>当該地域の児童生徒の通学手段の確保のため、スクールバスの運行・管理を継続して行う。平成30年度から米川地区について、中学生の生徒数増加に応じ、増便している。</p> <p>遠足など、小規模校と大規模校とが合同で行う学校行事の支援を行う。</p>
---

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	21,320	H30年度	26,902	R元年度	27,174
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番 号	業 務 名	番 号	業 務 名
1	スクールバス運行に関する事務		
2	集合学習等送迎支援		

### 5 事務事業の今後の課題

<p>米川小学校が令和2年度から休校となるため、スクールバスの運行について、保護者、学校と協議・検討する必要がある。</p> <p>笠戸島地区の施設は、公民館施設等として所管課へ引継ぎを行っているが、プール等の一部施設について引き続き、維持管理に努める必要がある。また、米川小学校の施設管理についても検討が必要である。</p> <p>学校規模の適正化・適正配置の検討に当たっては、保護者や地域の意向を尊重するとともに、地域の実態を踏まえ、対応していく必要がある。</p>
---

## 事務事業評価シート【No. 7】

第5章	教育文化	事務事業名	下松市海外語学研修生派遣事業
第1節	学校教育の充実		
2	小・中学校教育の推進		
(1)	確かな学力と個性を育む教育の充実	担当課名	教育総務課

### 1 事業内容

本市在住の中学生や市立学校の教諭を海外に派遣し、語学研修やホームステイを通じて、生徒の英語力及び英語教諭の技能の向上や異文化の理解、国際協調・協力の実践を図る。また、研修の成果について、広く市民に公開する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	C	B	C	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	5, 351	H30年度	5, 203	R元年度	5, 540
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番 号	業 務 名	番 号	業 務 名
1	下松市中学生等海外語学研修派遣事業		

### 5 事務事業の今後の課題

英語が小学校において教科化されることから小学校での外国語教育における指導力の向上が求められており、中学生と一緒に小学校教諭を派遣し、研修を行っている。  
共同実施している他市町と今後の運営について、協議をする必要がある。

## 事務事業評価シート【No.8】

第5章	教育文化	事務事業名	小学校ALT派遣
第1節	学校教育の充実		
2	小・中学校教育の推進		
(1)	確かな学力と個性を育む教育の充実	担当課名	学校教育課

### 1 事業内容

小学校学習指導要領を踏まえた教育内容の充実を図るとともに、グローバル化に対応した英語教育を一層推進するため、小学校5・6年生の外国語活動の時間や、小学校4年生以下の総合的な学習の時間等において、英語指導助手（ALT）を全小学校に派遣する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	A	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	3, 822	H30年度	6, 889	R元年度	6, 300
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番 号	業 務 名	番 号	業 務 名
1	小学校ALT派遣事業		

### 5 事務事業の今後の課題

ALTを活用した外国語活動の時間等において、児童が直接ネイティブの英語に接するとともに、外国の文化に触れることができる。また、ALTとの英語でのやり取りの中で、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うことができるなど、大きな成果を上げている。

令和2年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、よりよい授業を提供するためにALTと教員がさらに連携を図っていく必要がある。

## 事務事業評価シート【No.9】

第5章	教育文化	事務事業名	中学校ALT派遣
第1節	学校教育の充実		
2	小・中学校教育の推進		
(1)	確かな学力と個性を育む教育の充実	担当課名	学校教育課

### 1 事業内容

「語学指導等を行う外国青年招致事業」により、英語圏からALTを招致して、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーション能力の基礎を養うなど、中学校における外国語教育の一層の充実を図る。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	A	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	5,002	H30年度	5,362	R元年度	5,391
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番 号	業 務 名	番 号	業 務 名
1	中学校へのALT派遣		

### 5 事務事業の今後の課題

ALTによる英語教育で、生徒たちは「生の英語」に触れ、高いレベルの英語を身に付けることができている。生徒の更なる英語力向上のために、教員とALTが今後さらに連携を図り、質の高い授業を生徒に提供することが必要である。

## 事務事業評価シート【No.10】

第5章	教育文化	事務事業名	教員補助員の配置
第1節	学校教育の充実		
2	小・中学校教育の推進		
(1)	確かな学力と個性を育む教育の充実	担当課名	学校教育課

### 1 事業内容

障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、個に応じた適切な指導・対応を充実させるために、特別な教育的支援が必要な児童・生徒が在籍している小・中学校等に教員補助員を配置する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	A	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	23,947	H30年度	25,945	R元年度	30,200
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	特別支援教育教員補助員配置		

### 5 事務事業の今後の課題

本市では、小中学校の通常学級における特別な配慮を必要とする児童生徒の割合は高い数値で推移しており、教員補助員に対する期待は大きい。

また、特別支援学級に在籍する児童生徒についても、補助や支援を要するケースが増えている。

こうした現状を踏まえ、引き続き予算を確保し、継続的・安定的に人員を配置し、特別支援教育の充実及び体制整備を図る必要がある。

## 事務事業評価シート【No. 1 1】

第5章	教育文化	事務事業名	心豊かな子どもを育てる推進事業
第1節	学校教育の充実		
2	小・中学校教育の推進		
(2)	豊かな心と健やかな身体を育む教育の充実	担当課名	学校教育課

### 1 事業内容

家庭、学校、地域住民、関係機関等が一体となって、児童生徒の生徒指導上の課題への対応や健全育成に向けて、地域のネットワークづくりを視野に「あいさつ運動」や学校におけるボランティア活動などの実践的な取組を行う。また、関係機関及び団体の連携を図り、いじめの防止等に向けた全市的な取組を推進する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	A	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	647	H30年度	679	R元年度	984
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	心豊かな子どもを育てる推進事業		

### 5 事務事業の今後の課題

下松教育の基本目標である「心豊かに生きる力を育む」の実現に向け、コミュニティ・スクールの機能を活用するなど、学校・家庭・地域の連携を一層進める必要がある。

本事業の協議会は、「下松市いじめ防止基本方針」に基づく、「いじめ問題対策連絡協議会」としての機能を有しており、さまざまな関係団体の連携・協力の下、いじめの未然防止に向けた啓発活動等に、今後も積極的に取り組んでいく。

## 事務事業評価シート【No.12】

第5章	教育文化	事務事業名	下松市教育支援センター
第1節	学校教育の充実		
2	小・中学校教育の推進		
(2)	豊かな心と健やかな身体を育む教育の充実	担当課名	学校教育課

### 1 事業内容

下松市教育支援センター「希望の星ラウンジ」に教育指導員や心理カウンセラー、学習支援員、生徒指導支援員を配置し、不登校児童生徒に対し、学校生活及び社会生活への適応指導を行う。要請があれば学校訪問・家庭訪問を行い、自宅に引きこもりがちな児童・生徒及び保護者等を支援する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	A	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	8,484	H30年度	8,684	R元年度	8,610
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	下松市教育支援センター「希望の星ラウンジ」指導員配置		

### 5 事務事業の今後の課題

本市における不登校児童生徒の出現率は増加傾向にあり、児童生徒本人や保護者等からの電話や来室による相談は、年間約200件である。学校・家庭と連携を図り、一人でも多くの児童生徒の学校復帰につなげたい。児童生徒の不登校の要因は多岐にわたっており、今後は進路指導等を含め、一人ひとりのニーズにあわせた施策の充実が望まれる。



## 事務事業評価シート【No.13】

第5章	教育文化	事務事業名	下松市カウンセリングルームや心の教室相談員の活用
第1節	学校教育の充実		
2	小・中学校教育の推進		
(2)	豊かな心と健やかな身体を育む教育の充実	担当課名	学校教育課

### 1 事業内容

下松市カウンセリングルーム「くだまつふれあいラウンジ」を公集小学校内に設置し、臨床心理士が児童生徒や保護者、教職員等の相談に応じることにより、不登校やいじめなどの問題行動の解決につなげる。また、全中学校に「心の教室相談員」を配置して相談活動を充実させることにより、生徒の抱える悩みや不安等の解消に努める。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	A	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	3,020	H30年度	2,987	R元年度	3,016
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	スクールカウンセラーの配置		
2	心の教室相談員の配置		

### 5 事務事業の今後の課題

現在、カウンセリングルームは公集小学校内に設置、心の教室相談員は各中学校に配置しているが、スクールカウンセラーの学校派遣や配置時間の増加について引き続き検討していく必要がある。また、下松市カウンセリングルームにスクールソーシャルワーカーを新たに配置するなど、これまで以上に相談機能を充実させ、諸課題の早期解決を図っている。しかし、児童生徒や保護者が抱える諸課題が多岐にわたっている現状を踏まえ、よりきめ細やかな対応が必要となっている。

## 事務事業評価シート【No.14】

第5章	教育文化	事務事業名	コミュニティ・スクール推進事業
第1節	学校教育の充実		
2	小・中教育の推進		
(3)	地域に開かれた信頼される学校づくりの推進	担当課名	学校教育課

### 1 事業内容

「地域とともにある信頼される学校づくり～地域とともにある学校～」をめざし、学校・家庭・地域が一体となった新しい学校組織の構築と協力体制の整備により、それぞれが「教育の当事者」としての参画意識を高め、次代を担う児童生徒の育成に資する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	B	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	4,658	H30年度	6,271	R元年度	7,280
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	CS推進事業交付金		
2	下松市CSコーディネーターの配置		

### 5 事務事業の今後の課題

子どもを取り巻く社会環境の急激な変化により、学校や地域の課題の解決に向けては学校・家庭・地域の連携が重要であり、コミュニティ・スクールの機能を生かした取組の充実が求められている。本市ではCSコーディネーターを全小中学校へ配置し、連携体制の構築と、取組の充実を図っている。今後は、中学校区単位での地域連携を一層推進していくことが重要であると考えている。

## 事務事業評価シート【No.15】

第5章	教育文化	事務事業名	学校ガードボランティアの推進
第1節	学校教育の充実		
2	小・中学校教育の推進		
(3)	地域に開かれた信頼される学校づくりの推進	担当課名	学校教育課

### 1 事業内容

学校ガードボランティアに登録した市内小中学校の児童生徒の保護者や地域住民が、学校と連携し、通学路及び学校周辺のパトロールなどを行い、登下校時における児童生徒の安全確保及び地域や学校周辺の防犯活動を推進する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	A	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	392	H30年度	347	R元年度	378
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	学校ガードボランティア推進事業		

### 5 事務事業の今後の課題

登下校時における交通安全や不審者への対応等、児童生徒の安全・安心の確保に向けて、学校ガードボランティアの見守り活動は大きな役割を担っている。近年、ボランティアが減少してきたこともあり、新規ボランティアの確保と学校・ボランティア・警察等との連携体制の構築が急務である。

## 事務事業評価シート【No.16】

第5章	教育文化	事務事業名	就学援助費交付事業
第1節	学校教育の充実		
2	小・中学校教育の推進		
(5)	就学の援助	担当課名	学校教育課

### 1 事業内容

経済的な理由により、学校の給食費など就学に必要な費用の負担が困難な保護者に対して、教育費の一部を援助する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	A	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	68,507	H30年度	63,152	R元年度	68,380
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	要・準要保護児童生徒就学援助費		

### 5 事務事業の今後の課題

就学援助の制度について保護者に周知を行い、進級、離婚、生活保護廃止等の家庭状況の変化に応じて申請してもらい、援助費を支給することで低所得世帯の負担軽減を図ることが重要である。

## 事務事業評価シート【No.17】

第5章	教育文化	事務事業名	放課後子ども教室・家庭教育支援推進事業
第2節	社会教育の推進		
1	青少年の健全育成		
(1)	地域ぐるみでの青少年育成活動の充実	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

放課後（休日、長期休業を含む）に公民館や学校施設などを活用して、子どもたちの体験活動や交流拠点（居場所）を設け、地域住民の参画により、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動等を実施することにより、心豊かで健やかに育まれる地域環境づくりを推進する。

就学時健康診断の機会を活用した「子育て・親育ち講座」（小学校）及び「思春期子育て講座」（中学校）を実施する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	C	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	726	H30年度	715	R元年度	1,815
-------	-----	-------	-----	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番 号	業 務 名	番 号	業 務 名
1	協議会開催にともなう業務	4	小中学校の各講座に関する業務
2	スタッフ募集・研修に関する業務		
3	子ども教室の開設・運営に関する業務		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・地域の人材を活用することによりスタッフの増員を図り、活動メニューの工夫や開発に努める。
- ・学校や児童クラブとの更なる連携、家庭との確実な連絡（安全面）に努める。
- ・放課後子ども教室間の連携を図るために、教室間の情報交換ができる機会を設置する。
- ・思春期子育て講座は、中学校のコミュニティ・スクールと連携し、地域住民も参加できるような工夫が必要である。
- ・令和元年度、末武地区において「地域未来塾」（塾へ通えない生徒に学習機会を提供する）を新規事業として実施し、事業を軌道に乗せる。

## 事務事業評価シート【No.18】

第5章	教育文化	事務事業名	子ども会活動支援事業
第2節	社会教育の推進		
1	青少年の健全育成		
(1) (2) (3)	地域ぐるみでの青少年育成活動の充実 青少年団体の活動支援 青少年教育の充実と指導者の育成	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

<p>子ども会活動を支援するための育成組織を強化促進する。</p> <p>子ども会の育成について啓発を行うとともに、研修会の開催を通して、子ども会育成者及び指導者の養成を図る。</p>
--

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	486	H30年度	480	R元年度	590
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	子ども会親睦球技大会の開催	4	指導者・育成者研修会の開催
2	星の子フェスタの開催	5	全国子ども会安全会受理業務
3	県子連関係の研修会及び会議		

### 5 事務事業の今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会説明会を継続して開催していくことにより、新規の役員に子ども会の現状や役割などの情報提供を行い、子ども会活動の活性化を図る。</li> <li>・子ども会加入率の低下について、他のコミュニティ団体の意見を聴くなど改善策等について検討する必要がある。</li> </ul>
--

## 事務事業評価シート【No.19】

第5章	教育文化	事務事業名	青少年の健全育成活動
第2節	社会教育の推進		
1	青少年の健全育成		
(1) (2) (5)	地域ぐるみでの青少年育成活動の充実 青少年団体の活動支援 社会環境の浄化	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

下松市青少年育成協議会を中心として、関係機関・組織と連携し、青少年を取り巻く地域環境の把握に努め、環境浄化活動など青少年の健全育成に係る諸施策を実践する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	C	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	121	H30年度	191	R元年度	237
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	下松市青少年育成協議会事務局事務	4	下松市青少年問題協議会の開催
2	有害図書類の区分陳列調査		
3	県民会議等への出席		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・下松市青少年育成協議会と市内3地区（久保、花岡、中村）の青少年育成協議会との連携強化に努める。
- ・市内3地区以外の地区青少年育成協議会の立ち上げに際し、助力する。
- ・「家庭の日」家族ふれあいの集い事業の充実を図る。
- ・「青少年を守る店」運動協力店100店を目指し、拡充を図る。

## 事務事業評価シート【No. 20】

第5章	教育文化	事務事業名	子どもの読書活動の促進
第2節	社会教育の推進		
1	青少年の健全育成		
(4)	子どもの読書活動の促進	担当課名	図書館

### 1 事業内容

図書館行事、企画展示等、子どもと本を結ぶ様々な取り組みを行うとともに、読書通帳を活用し、子どもの読書意欲の喚起に努める。

子ども達が心豊かに生きる力を育むための支援として、司書が市内の全小学校に出向いて4年生を対象に「星ふるまちの図書館教育」を実施し、図書館活用術を教える。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	A	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	540	H30年度	540	R元年度	540
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	親子読書推進事業	4	子ども対象各種行事
2	星ふるまちの図書館教育	5	企画展示、ブックリスト作成
3	図書館サービスハンドブック事業	6	おはなしボランティア養成

### 5 事務事業の今後の課題

- ・「下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ」を効果的に活用し、子ども達が下松の先人達の足跡を学び、郷土に誇りと愛着を持てるような取り組みを考える。
- ・教員や学校図書館支援員と連携を図り、小中学校への読書支援を行う。



## 事務事業評価シート【No. 21】

第5章	教育文化	事務事業名	啓発・情報提供の推進活動事業
第2節	社会教育の推進		
1	青少年の健全育成		
(6)	啓発・情報提供の推進	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

「地域で子どもを育てよう」をテーマに、ボランティアスタッフと連携して情報誌「ねえ」を発行することにより、地域への情報提供と地域での子どもの居場所づくりを推進する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
C	C	B	C	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	356	H30年度	344	R元年度	410
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	情報誌「ねえ」の作成業務		
2	ボランティアスタッフ会議の開催		
3	星の子ネット子ども応援プロジェクト		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・ボランティアスタッフが固定化され、内容がマンネリ化しているため、新規ボランティアスタッフの増強を図り、活動の活性化を図る。
- ・情報誌としての位置づけを明確にするとともに、ニーズを適切に把握し、紙面に反映させるよう努める。

## 事務事業評価シート【No. 22】

第5章	教育文化	事務事業名	青少年相談業務
第2節	社会教育の推進		
1	青少年の健全育成		
(7)	相談事業の充実	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

社会教育指導員による電話相談「ヤングテレホンくだまつ」を設け、青少年に関する様々な悩みや相談に対し、適切な助言や情報提供を行う。勉強、進学、学校生活、友達、家庭生活、いじめ、携帯・スマホ、心の問題、性など幅広い領域の相談に対応する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	60	H30年度	61	R元年度	80
-------	----	-------	----	------	----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	電話相談		
2	庁内青少年相談担当連絡会		
3	ヤングテレホン周知		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・多様化、複雑化する相談内容に応じた的確な助言を行うため、相談員の専門性を高めるとともに、庁内の青少年相談機関とのより一層の連携と情報交換に努める。
- ・ホームページ・市広報・チラシ等で、電話相談「ヤングテレホンくだまつ」について、より一層の周知に努める。

## 事務事業評価シート【No. 23】

第5章	教育文化	事務事業名	公民館施設管理整備事業
第2節	社会教育の推進		
2	生涯学習施設の充実		
(1)	公民館への指定管理者制度導入と施設整備	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

生涯学習やコミュニティ施設としての機能を併せ持つ公民館施設について、計画的に施設の必要な改修や建替えを行う。

また、地域住民による指定管理者制度の導入検討を進め、導入した公民館にあっては、円滑な運営ができるよう支援する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	B	B	拡充

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	75,971	H30年度	92,199	R元年度	235,908
-------	--------	-------	--------	------	---------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	施設管理業務	4	施設改修業務
2	備品等管理業務	5	指定管理者制度に係る業務
3	貸館業務		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・指定管理者制度を活用した地域による公民館運営の推進に向け、引き続き地域住民との意見交換を進めるとともに、導入した公民館の円滑な運営に努める。
- ・公民館施設整備計画に基づき、老朽化した公民館施設の建替えを進める。
- ・公民館使用料に係る免除団体登録制度の適正な運用に努める。

## 事務事業評価シート【No. 24】

第5章	教育文化	事務事業名	図書館の充実
第2節	社会教育の推進		
2	生涯学習施設の充実		
(2)	図書館の充実	担当課名	図書館

### 1 事業内容

図書館が、市民に親しまれ信頼される地域の情報拠点として機能するように、蔵書の充実や的確なレファレンスサービス（資料相談）に努める。

「下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ」搭載資料の充実や、地域に関連した企画展示・行事の開催により、下松市の歴史や特色を広く情報発信する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	A	B	拡充

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	69,016	H30年度	74,531	R元年度	73,576
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	図書館管理運営	4	郷土資料デジタル化事業
2	資料収集・提供・保存	5	図書館行事・企画展示
3	レファレンス（資料相談）業務	6	情報発信

### 5 事務事業の今後の課題

- ・「下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ」の搭載資料の充実を図る。
- ・生涯学習振興課、産業観光課、島の学び舎等と連携し、下松市の魅力を効果的に情報発信できるような企画を考える。

## 事務事業評価シート【No. 25】

第5章	教育文化	事務事業名	移動図書館の充実
第2節	社会教育の推進		
2	生涯学習施設の充実		
(3)	移動図書館の充実	担当課名	図書館

### 1 事業内容

図書館から離れた地域の巡回、交通手段を持たない子どもやお年寄りを対象にした幼・保育園、小学校、児童の家、高齢者福祉施設への巡回により、きめ細かい図書館サービスを行う。  
学校や園への巡回では、図書館体験のない子ども達に図書館利用のきっかけづくりをする。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	A	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	3, 655	H30年度	4, 272	R元年度	4, 538
-------	--------	-------	--------	------	--------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	移動図書館車の安全運行	4	地域の見守り
2	移動図書館の利用促進		
3	積載資料の充実		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・利用状況や交通事情、巡回要望等を検討しながら、巡回ステーションの見直しを行う。
- ・利用者との会話や利用傾向などからニーズを把握し、積載図書の入替えや、次回巡回日に届ける等で、地域住民に寄り添う移動図書館づくりをする。

## 事務事業評価シート【No. 26】

第5章	教育文化	事務事業名	文化会館管理事業
第2節	社会教育の推進		
2	生涯学習施設の充実		
(4)	「スターピアくだまつ」等の活用促進	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

下松市文化会館の施設及び設備の維持管理に関する業務を行う。現在は、公益財団法人下松市文化振興財団が指定管理者として管理運営を行っている。

主要機器類の年次更新や施設の維持補修など、長期計画に沿った改修工事を実施することで施設の長寿命化を図る。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	210,015	H30年度	482,211	R元年度	145,296
-------	---------	-------	---------	------	---------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	施設及び設備改修工事		
2	管理運営業務		
3	指定管理者制度に係る業務		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・平成29・30年で開館以来初めてとなる大規模改修を実施したが、今後、長寿命化計画を策定し、利用者への利便性の向上に配慮した効果的な改修・更新を図る必要がある。

## 事務事業評価シート【No. 27】

第5章	教育文化	事務事業名	下松市生涯学習支援事業
第2節	社会教育の推進		
3	生涯学習の推進		
(1) (2) (3) (4)	生涯学習活動の推進 生涯学習機会の充実 指導者の育成・確保 生涯学習情報の提供	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

市民講師セミナー及びくだまつ行政講座による出前講座を実施し、市民の生涯学習活動を支援する。また、公民館、図書館などの講座情報をまとめた「とくとく情報」の発行や「くだまつ親子の日フェスタ」における生涯学習活動見本市の開催により、学習機会の提供と動機付けを行う。

高等教育機関との協同事業として、放送大学と共催で「星ふるまちのくだまつアカデミー」を開催し、多様な学習ニーズに対応する。

市内在住、在勤の方を対象に会員を募集し、公開講座を含めた年9回の講座を実施する。企画委員が各講座の企画・立案を行い、一般会員が、企画委員と共に各講座の運営を行う。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	C	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	924	H30年度	645	R元年度	820
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	出前講座講師の登録・運営	4	くだまつアカデミーの開催
2	とくとく情報作成	5	星のまちカレッジ after 5 in くだまつの企画・運営
3	生涯学習活動見本市の開催		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・多様な市民ニーズに対応できるよう、新規ボランティア講師の発掘に努めるとともに、講座内容の充実を図る。
- ・星ふるまちのくだまつアカデミーの事業内容について検討する。
- ・星のまちカレッジ after 5 in くだまつにおいては、多様な年齢層に受講してもらえるような工夫が必要である。また、新たな企画委員の勧誘と育成を図ることが必要である。

## 事務事業評価シート【No.28】

第5章	教育文化	事務事業名	芸術文化の振興
第3節	文化・スポーツの振興		
1	文化の振興と文化財保護		
(1)	文化活動の支援	担当課名	生涯学習振興課
(2)	文化行事の開催・充実		

### 1 事業内容

市民の芸術文化活動を促進し、芸術文化への関心を高めるため、芸術・文化の振興に功績があった者（団体）を表彰する。

文化部門での全国大会出場者（団体）に対する激励金の交付や文化協会共催による市民文化祭、市内で開催される県総合芸術文化祭への補助を行う。

文化協会及び地方史研究会の事務局を運営する。

市民美術展覧会を開催することにより、芸術創作活動を促進するとともに、芸術作品の鑑賞の場を提供することにより、市民の芸術文化の普及向上を図る。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	1,552	H30年度	1,343	R元年度	2,242
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	表彰の選考・推薦及び表彰式の開催	4	文化協会・地方史研究会事務局補助
2	文化部門全国大会派遣費補助	5	市民美術展覧会の企画・運営
3	市民文化祭・山口県総合芸術文化祭補助		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・芸術文化振興奨励賞（学生及び生徒）の授賞基準について、全国大会出場激励金の交付基準との整合性を図りながら、時代に応じた見直しを常に検討する。
- ・文化部門全国大会出場激励金について、交付する対象者・団体の把握に努める。
- ・文化協会や地方史研究会などの団体活動における行政の関わり方を整理し、自立した運営ができるよう支援する。



## 事務事業評価シート【No. 29】

第5章	教育文化	事務事業名	吹奏楽の活動支援
第3節	文化・スポーツの振興		
1	文化の振興と文化財保護		
(3)	音楽のまちづくり	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

下松吹奏楽協会として、協会加盟団体10団体による演奏会「下松吹奏楽のつどい」の開催に伴う企画運営事務を行うほか、定期的クリニック（技術講習会）を年2回開催する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	C	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	784	H30年度	784	R元年度	784
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	定期的クリニックの開催	4	吹奏楽協会・吹奏楽のつどい補助
2	吹奏楽のつどいの開催		
3	吹奏楽協会事務局		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・会員募集などにより吹奏楽協会会員の増加を図り、活動・運営資金の確保に努める。
- ・平成24年度から始めた「吹奏楽のつどい」プログラムに掲載する協賛広告の募集をさらに拡大し、運営資金の増加につなげていく。

## 事務事業評価シート【No.30】

第5章	教育文化	事務事業名	文化財保護事業
第3節	文化・スポーツの振興		
1	文化の振興と文化財保護		
(4) (5)	文化財保護活動の推進 伝統芸能の保存・伝承	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

<p>文化財愛護意識の高揚を図り、指定文化財を適切に保存・管理し、貴重な文化財を保護する。</p> <p>埋蔵文化財を保護するため、包蔵地内における開発等について、県への届出等に係る事務を行うほか、指示により工事立会を実施し、結果を報告する。</p> <p>郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」における郷土の歴史・民俗・文化財等に関する資料の保存と活用を図る。</p> <p>国指定文化財「関伽井坊多宝塔」の防災設備管理事業に対する補助金や国指定天然記念物「八代のツル」のねぐら整備に対する負担金を交付する。</p> <p>県指定無形民俗文化財「切山歌舞伎」の保存会に対して補助金を交付する。</p>
---

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	5,027	H30年度	2,297	R元年度	3,638
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	文化財審議会、文化財防火デー業務	4	関伽井坊多宝塔・八代のツルへの補助
2	埋蔵文化財保護経由事務	5	切山歌舞伎保存会への補助金交付
3	郷土資料展示収蔵施設の管理・運営		

### 5 事務事業の今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は県の技術支援を得て業務を行っているが、埋蔵文化財に関する業務を適切に行うためには、専門知識をもった職員の確保が必要である。</li> <li>・郷土資料展示収蔵施設「島の学び舎」における郷土資料の適切な管理・保存を行うとともに、魅力ある展示や企画展の実施等により来館者の増加に努める。</li> <li>・下松市教育委員会が保管・管理する古文書その他歴史研究資料等について、適切に運用するため、閲覧等についてルールを作成を行う。</li> <li>・「切山歌舞伎」を郷土芸能として保存・伝承していくために、その活動を支援していくとともに、後継者の育成を推進する。</li> <li>・市史編さん事業（平成史）の検討を開始する。</li> </ul>
---

## 事務事業評価シート【No. 31】

第5章	教育文化	事務事業名	レクリエーションスポーツの普及
第3節	文化・スポーツの振興		
2	スポーツの推進		
(1)	レクリエーションスポーツの普及	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

市広報やホームページ、情報紙「スポーツネットきらら」等を活用して市民や指導者等に情報提供を行うとともに、スポーツイベントや出前講座においてレクリエーションスポーツを体験できる機会を設けるなどしている。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	C	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	205	H30年度	239	R元年度	165
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	短期スポーツ教室		
2	レクリエーションスポーツ器具活用		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・訴求力の高い情報発信方法や多様な発信内容を検討し、より親しみやすい情報を市民に広報する必要がある。
- ・レクリエーションスポーツについて、公民館と連携した短期スポーツ教室や、イベント会場等を活用した積極的な周知に努め、幅広い世代にレクリエーションスポーツへの参加を推進する必要がある。
- ・公民館単位で様々なスポーツ教室を開催することができるよう指導者を発掘・育成し、出前講座の充実を図る必要がある。

## 事務事業評価シート【No.32】

第5章	教育文化	事務事業名	健康・体力づくり運動の推進
第3節	文化・スポーツの振興		
2	スポーツの推進		
(2)	健康・体力づくり運動の推進	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

保健部門と連携して健康体操教室への参加を促しており、特に高齢者が手軽な運動として取り組みやすい内容を企画し、介護予防につながるよう工夫している。

また、泳ぎが苦手な小学生を対象に低学年と高学年に分け、少人数対応の水泳指導を行っている。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	C	B	縮小

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	616	H30年度	505	R元年度	600
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	健康体操教室	4	ノルディックウォーキングの推進
2	水泳教室		
3	歩こう会		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・健康体操教室について、ニーズや効率性及び今後の継続性等を考慮し、公民館単位での指導（対応）の縮小を検討する必要がある。
- ・水泳教室の講師について、下松市水泳連盟や小学校と連携し、人材確保に努めるとともに、参加者の意見を反映させつつ発展させる必要がある。
- ・健康、体力作りのニーズにマッチした企画の立案や指導に努める必要がある。

## 事務事業評価シート【No. 3 3】

第5章	教育文化	事務事業名	スポーツイベントの充実
第3節	文化・スポーツの振興		
2	スポーツの推進		
(3)	スポーツイベントの充実	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

各種大会を開催しており、レクリエーションスポーツについては、体を動かす楽しさを実感できるよう、あらゆる世代が楽しめる種目によるイベントを企画している。

また、それぞれのイベント運営にあたっては、競技団体やスポーツ推進委員協議会などと協働で行っている。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	C	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	784	H30年度	514	R元年度	900
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	市民ゲートボール大会	4	市民ウォークラリー大会
2	市民体育祭	5	下松レクフェスタ
3	下松駅伝競走大会		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・近年、参加者が大幅に減少している市民体育祭について、実施内容や運営方法を見直し、多世代かつ多くの市民が参加し、楽しみながらスポーツに親しむ機会を創出できるよう努める必要がある。また、その他のイベントについても、時代のニーズに沿ったものとなるよう随時改善を図る必要がある。
- ・イベントに対応できるスポーツボランティアバンクの魅力について広く周知し、仕組みづくりを加速させる必要がある。また、スポーツボランティアバンクのみならず、イベント開催に際しては、関係団体、地域、学校、民間企業等との協働を推進する必要がある。

## 事務事業評価シート【No.34】

第5章	教育文化	事務事業名	スポーツによるまちづくり
第3節	文化・スポーツの振興		
2	スポーツの推進		
(3) (6)	スポーツイベントの充実 競技スポーツの振興	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

下松市の「わがまちスポーツ」であるハンドボール、バドミントンを中心としたスポーツの振興による地域の活性化を推進しており、各種スポーツを活用した取組にあたっては、地域、学校、民間企業等、幅広い分野との協働により、事業効果の向上を高めるよう努めている。  
あわせて、東京2020オリンピックに関連した取組による地域の活性化を推進している。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	2,600	H30年度	4,150	R元年度	4,145
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	地域活性化推進事業	4	スポーツ人口拡大推進事業（H27～29年度）
2	オリンピック関連事業		
3	スポーツボランティアバンク		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・「下松市スポーツ推進計画」に掲げた諸施策の積極的推進を図る必要がある。
- ・「わがまちスポーツ」を中心としたスポーツの育成・発展に向けた支援を行うとともに、当該支援が地域活性化につながるよう取り組む必要がある。
- ・キャンプ誘致等、オリンピックに関連した取組により地域活性化を実現する必要がある。
- ・イベントに対応できるスポーツボランティアバンクの魅力について広く周知し、仕組みづくりを加速させる必要がある。また、スポーツボランティアバンクのみならず、イベント開催に際しては、関係団体、地域、学校、民間企業等との協働を推進する必要がある。

## 事務事業評価シート【No.35】

第5章	教育文化	事務事業名	スポーツ組織の育成・支援
第3節	文化・スポーツの振興		
2	スポーツの推進		
(4)	スポーツ組織の育成・支援	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

関係団体へ組織運営の支援や補助金の交付を行っている。  
また、総合型地域スポーツクラブに対し、助言等の自主運営支援を行っている。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	C	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	1,762	H30年度	1,762	R元年度	1,772
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番 号	業 務 名	番 号	業 務 名
1	総合型地域スポーツクラブ支援		
2	スポーツ少年団事務局		
3	下松市体育協会交付金		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・関係団体の組織運営支援を継続して行うとともに、必要に応じた支援の見直しを行う必要がある。
- ・スポーツ組織のリーダーとなる人材を発掘し、育成に努める必要がある。
- ・スポーツ少年団組織内の協調性を高め、団体間の交流を通じて、青少年の健全育成の充実化を図る必要がある。

## 事務事業評価シート【No.36】

第5章	教育文化	事務事業名	指導者の育成・確保
第3節	文化・スポーツの振興		
2	スポーツの推進		
(5)	指導者の育成・確保	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

スポーツ分野における地域のリーダーを育成するため、指導者研修や実技講習会への参加、他市のスポーツ推進委員との交流等を通じ、スポーツ推進委員の資質向上を図っている。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	C	C	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	2,007	H30年度	2,575	R元年度	2,577
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	スポーツ推進委員協議会		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・スポーツ推進委員の専門性強化と質の向上のため、研修参加の機会を増やすとともに、後継者の発掘・育成を行う必要がある。
- ・スポーツ推進委員活動の継続、発展を図るため、事業内容を検討等に対する必要な支援を行う必要がある。
- ・公民館単位で運動の指導インストラクターとなる人材の発掘や育成を進める必要がある。



## 事務事業評価シート【No.37】

第5章	教育文化	事務事業名	競技スポーツの振興
第3節	文化・スポーツの振興		
2	スポーツの推進		
(6)	競技スポーツの振興	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

全国大会等へ出場する選手に対して激励金を交付するとともに、スポーツ分野で好成績を収めた方や、功績のあった方に対しスポーツ賞表彰を行っている。

また、トップアスリートによる指導やアスリートとの交流等を通じた、競技力向上支援を行っている。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	C	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	H30年度	R元年度
1,313	2,025	1,750

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	全国大会等出場激励金		
2	スポーツ賞表彰		
3	体育協会事務支援		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・全国大会等出場激励金の活用について積極的な周知を行う必要がある。
- ・スポーツ賞表彰について、体育協会や学校、関係団体との連携を密にし、受賞対象者情報の収集を積極的に行う必要がある。また、時代の流れや他市とのバランスを考慮し、市民のモチベーション向上に資する適切な対象者選定基準を随時検討する必要がある。
- ・体育協会加盟団体の協調関係を強化し、活発な活動を支援する必要がある。

## 事務事業評価シート【No.38】

第5章	教育文化	事務事業名	生涯スポーツ施設の整備充実
第3節	文化・スポーツの振興		
2	スポーツの推進		
(7)	生涯スポーツ施設の整備充実	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

施設利用者の意見や要望の把握に努めつつ、施設の充実や駐車場等付帯施設の効率的運用を進めている。

また、指定管理者である下松市施設管理公社と定期的に連絡調整会議を開催し、施設管理の問題や課題などを共通認識し解決に努めている。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	A	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	52,584	H30年度	55,999	R元年度	445,935
-------	--------	-------	--------	------	---------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	施設整備		
2	体育施設管理		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・老朽化した体育施設の整備・改修を検討し、安全性の確保と利用の促進を図る必要がある。
- ・器具や備品の定期的な整備によって安全性を確保し、活用促進を図る必要がある。
- ・学校体育施設の利用など、既存施設の有効活用を推進したうえで、選択と集中の考え方を考慮した適切な施設整備を検討する必要がある。

## 事務事業評価シート【No.39】

第5章	教育文化	事務事業名	心豊かな人づくり事業
第3節	文化・スポーツの振興		
3	多様な交流の展開		
(3)	笑いあふれるまちづくり活動	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

「笑い」と「花」と「童謡」を3本の柱とする心豊かな人づくり事業を進めている。

「笑い」では、笑顔が笑顔を呼ぶまちづくりを目指し、あいさつ運動を全市的に展開するほか、笑顔の写真を集めるコンテストを実施している。

「童謡」では、童謡がまちの津々浦々に流れ、口ずさまれ、心の中に美しい花が咲くまち、笑顔で温かいふれあいに充ちたまちを実現するために各種行事を開催している。

親と子の関係を見つめ直す機会として平成26年度に制定した7月第4日曜日の「くだまつ親子の日」について、幅広い世代を対象に普及啓発を行う。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	3,498	H30年度	3,300	R元年度	3,733
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	あいさつ運動の推進	4	「くだまつ親子の日」推進事業の展開
2	童謡フェスタ及び童謡フェアの開催	5	くだまつ親子の日フェスタの開催
3	笑顔の写真コンテスト		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・童謡フェスタにおける実行委員会の企画運営を行うボランティアスタッフの拡充を図るとともに、ステージ構成・演出などのマンネリ化を防ぐため、新たな企画・立案を行う。
- ・くだまつ親子の日普及推進プロジェクト事業を通じて、「くだまつ親子の日」の一層の振興を図る。

## 事務事業評価シート【No.40】

第6章	地域経営	事務事業名	下松市成人式
第1節	協働社会の形成		
3	市民参加と協働の推進		
(1)	市民の主体的まちづくり活動の展開	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

新成人を中心とした成人式実行委員会による企画及び運営により、下松市成人式を挙げる。

実行委員会は、8月から月1回程度、企画・立案し、協議を重ね、新成人の門出を祝うため事業を運営する。

当日は、式典とアトラクションの2部構成で、前半の記念式典は、市長による式辞、来賓による祝辞、新成人代表による「新成人の想い」を伝えるなど、厳粛な中で行われる。後半は、新成人を含む実行委員会が運営を担当する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	A	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	762	H30年度	868	R元年度	1,031
-------	-----	-------	-----	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	下松市成人式の挙行		
2	成人式実行委員会の開催 (企画運営について月1回程度)		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・新成人を主体とした実行委員会を組織するため、新成人の実行委員の募集方法等について検討するとともに、実行委員会の立ち上げを早期に行う。
- ・式典の構成やアトラクションの内容等について、実行委員の自主的な意見を反映することにより、新成人にとって身近に感じられる意義深い成人式となるよう努める。
- ・令和4年4月に施行される改正民法により、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられることに伴い、成人式の対応について方針を検討する。

## 事務事業評価シート【No. 4 1】

第6章	地域経営	事務事業名	下松市民憲章推進によるまちづくり
第1節	協働社会の形成		
3	市民参加と協働の推進		
(1)	市民の主体的まちづくり活動の展開	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

一人ひとりが自分たちのまちを支え、明るく住みよい、そして潤いのあるまちづくりと心豊かなひとづくりを推進するとともに、安全安心住みよき日本一のまちを目指し、市民憲章が市民生活の中に融合するよう、適切な実践方法を策定・実行する。

市民憲章制定50周年に向けた事業（標語・写真コンクール、記念石碑の設置）を実施する。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	220	H30年度	220	R元年度	220
-------	-----	-------	-----	------	-----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	市民憲章推進協議会事務局		
2	市民憲章推進協議会補助金交付		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・市民憲章制定50周年を迎え、市民憲章の精神（こころ）を市民生活の中に根付かせるため、地道に裾野を広げていく。
- ・市民憲章推進協議会の加入団体数の増加に努めるとともに、引き続きサポーター会員の確保と賛助金を活用した事業に取り組む。

## 事務事業評価シート【No.42】

第6章	地域経営	事務事業名	下松市連合婦人会活動支援
第1節	協働社会の形成		
4	コミュニティの形成		
(1)	コミュニティ活動推進体制の確立	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

市内4地区456人の婦人会員から成る連合婦人会で、4地区の連結協調を図る。  
 多くの婦人会行事を運営する中で、お互いが積極的にまちづくりに参加できるよう支援する。  
 連合婦人会事務局事務で、主に会議・総会・研修会・体育祭などの行事への出席・資料作成及び連絡調整を行う。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
B	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	81	H30年度	81	R元年度	81
-------	----	-------	----	------	----

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	各行事開催に伴う業務	4	県連合婦人会に関する業務
2	運営に関する業務	5	会員研修に関する業務
3	各種行事協力		

### 5 事務事業の今後の課題

・会員の高齢化と若年層会員の減少が進んでいる。

## 事務事業評価シート【No.43】

第6章	地域経営	事務事業名	人権教育
第2節	人権尊重の推進		
1	人権の尊重		
(3)	社会教育における人権学習機会の充実	担当課名	生涯学習振興課

### 1 事業内容

下松市人権教育推進委員会議の指導と助言を得ながら、人権教育の推進に努める。具体的には、市民の人権意識の高揚を図るため、各関係機関・団体・職域等との連携による「人権教育研修の日講座」「人権教育推進者研修講座」を開講し、学習機会の充実、推進者の養成に努める。また、基本的人権を尊重し合う明るく住みよいまちをつくるため、「下松市『人権』を考えるつどい」を開催する。

学校、幼稚園、保育園、公民館、企業、事業所、社会教育関係団体等と連携し、人権に関する情報提供や学習機会の増加及び充実に努める。また、視聴覚教材の整備やリーフレット等を作成し、本事業の講座や各種団体・職場等の研修の資料として役立つ。

### 2 事務事業の評価

妥当性	有効性	効率性	関与性	総合評価
A	B	B	B	継続

### 3 事務事業のコスト

単位：千円

H29年度	1,669	H30年度	2,142	R元年度	2,713
-------	-------	-------	-------	------	-------

### 4 事務事業を構成する業務

番号	業務名	番号	業務名
1	人権教育推進委員会の運営業務	4	人権教育研修に関する業務
2	「人権」を考えるつどいに関する業務	5	啓発用DVDの貸出業務
3	人権教育研修、各講座に関する業務		

### 5 事務事業の今後の課題

- ・人権教育の推進者養成（研修）に努める。
- ・参加者のニーズに合った講座、講演会の講師選択や、視聴覚教材の選定に努める。
- ・広く市民（特に企業や事業所）に対して、人権意識の高揚を図るとともに、「人権を考えるつどい」の参加者の確保に努める。
- ・啓発用DVDの貸出、活用に努める。







くだまる